

- 一、本會は労働者を以て組織す
 - 二、本會は會員の向上進歩を謀り労働問題の研究、調査及び解決を目的とす
 - 三、本會の目的を達する爲、労働懇談會講話、労働紛議の和解仲裁失業救済等により補助を爲す
- 協調主義をモットーとして生れた同協会の會員が現在資本主義社會に於て協調の出來得ざる事、日常の労働の體驗として知つた時、必然的な運命として協調主義を打破して新社會建設運動の方針を採るといふ事は當りの事と云ふべきである。
- 次に示すは已述された新綱領である。

綱領

- 一、吾等は地上に永遠に動く事の出來得ない社會を招来しようと決心する
 - 二、吾等は力を協せてその準備と建設に努める
- は闘士を發つて激烈に奮闘したのである。
- 斯の如く戦ひ續けた同協会は其勢を驕つて終に愛知時電氣株式會社に内通したのである。何と云へても單時に於ける激烈の運動と内部の暗通とがなした事は、外敵の爲に入らざる可味であつた。此は結果の最後は於てかなり烈しく官憲の壓迫を受ける。同協会の闘士である結果のリーダーである労働者の方角は替へた事は協会の爲に最致命な事件であつたと思ふ。其後の反省にして無目なる此地方の官憲の暗通と資本家の同協会对する祖述なる壓迫の爲めに、此の地方に於て組合主義を絶叫して戦ひ來つた如きの機關は漸く殘廢車に傾いたのである。がも同協会の會員たる山田、依田兩氏に依りて、此の真逆に傾いた協會を軌道正しく軌道に會員の復歸を促して若くは救ふが爲めとなした同協會を廢棄した事は又此の地方に於ける労働者の爲に哀なるのである。其に此後に於ける同協会の壓迫なる結果の運動を看するものである。(以下略)